

製品・サービス動向-国内

■Insta360 Japan：ビデオ会議に革新をもたらすデュアル 4K カメラ AI ビデオバー「Insta360 Connect」を発売

(PRTIMES：3月7日)

Insta360 Japan 株式会社
(<https://www.insta360.com/jp/>) (東京都中央区) は、デュアル 4K カメラ AI ビデオバー「Insta360 Connect」の日本での正式発売を発表した。



Insta360 Connect(Insta360 Japan)



Insta360 Connect 使用イメージ (Insta360 Japan)

オールインワンのビデオバーには、デュアル 4K カメラ、14 個のマイクアレイ、高度なトラッキング機能が搭載されている。小規模から大規模の会議室向けに設計された Insta360 Connect は、最先端のハードウェアと

AI アルゴリズムをシームレスに組み合わせて、室内とリモートの両方の参加者に没入感のあるリアルな体験を提供する。シンプルなプラグ&プレイ設計は、ラップトップやすべての主要な会議プラットフォームとシームレスに連携し、スムーズで効率的な BYOD 会議を実現するという。

Insta360 Connect は、1/1.3 インチ CMOS センサーを備えた広角カメラと望遠ジンバルカメラで構成されている。この 2 つはシームレスに連携して、4K グループビューと個々のクローズアップを捉え、部屋の向こう側にいる参加者も、前にいる参加者と同じくらい鮮明に映るという。

Connect のオーディオは、14 個のマイクアレイと 3A オーディオアルゴリズムにより、より高品質の收音が実現されている。また、14 個の全方位マイクは、広いスペースや会議室の部屋の隅々からの声を正確に拾うと同時に、最先端の 3A アルゴリズムは不要なノイズとエコーを排除し、最大 10m からの声をバランスの取れた音量、最高の明瞭性、自然で臨場感のあふれるサウンドで收音することが可能となっている。

さらに、インテリジェントで動的な調整が行えるアダプティブオーディオシステムが、リアルタイムの音響環境を分析して背景のノイズと残響を除去し、誰もが邪魔されることなく会議に集中できるようにする。加えて、室内のリアルタイムの音響環境を認識し、それに応じてノイズ低減と残響除去のパラメータを設定する仕組みになっている。

以上のほか、Connect には、すべての参加者に合わせてビューを自動的に調整し、全員をフレーム内に収める「AI フレーミング」、独自の AI アルゴリズムを搭載した個別のウィンドウが参加者に提供（最大 8 つ）さ

れる「8K ギャラリーモード」、マルチモーダルスピーカートラックリングアルゴリズムをベースとした、話しているスピーカーの位置を特定してズームインする「追跡機能」などがある。

一方、「ホワイトモード」「スピーカーフォンモード」「プライバシーモード」といった、よりスムーズなプレゼンテーションと簡単な操作を実現するさまざまな多目的モードも備えている。

取り付けもあらゆるスペースに対応しており、デスクマウント（同梱）、壁掛けマウント、TV マウントと、3つの汎用的な取り付けオプションを備えている。

本体と一緒に同梱されているものとしては、デスクスタンド、1.8mのHDMIケーブル2本、1.8mのUSB-Cケーブル、電源アダプタ、リモコンがある。追加アクセサリーとしては、壁掛けマウント、TV マウント、タッチパネル、ロングケーブルなどがある。

Insta360 は 2015 年に創業。全天球 VR カメラで世界シェア No.1 を誇る、業界のリーディングカンパニー。

「未来のカメラマン」(Future Camera Man) というビジョンを持ち、イメージングアルゴリズム、AI、機械制御、音響、光学の研究を推し進め、人々が自分の人生をよりよく記録・共有しやすい世界の実現を目指している。

* Insta360 Connect 発売 - デュアル 4K カメラ AI ビデオバー
<https://youtu.be/zMLq6gKf4bU?si=HEC7svGkPZcjLeR>

■ブイキューブ：Agora の最新ソリューション「会話型 AI エンジン」を日本正規代理店として提供開始

(PRTIMES:3月12日)

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都港区) は、リアルタイムエンゲージメント API リーディングプラットフォームである Agora の新ソリューション「Agora Conversational AI Engine」(以下、会話型 AI エンジン) の提供を開始した。

今回提供する会話型 AI エンジンは、超低遅延かつリアルタイムで自然な会話を可能にする最新のソリュー

ション。これにより、人間同士の自然な会話に近いスムーズなコミュニケーションを実現するとともに、AI アシスタントや AI エージェントを活用した対話型ソリューションの質を大幅に向上させるという。

Agora の会話型 AI エンジンの主な特長は、以下の通り。(1) 超低遅延の音声認識 (STT) で正確かつスムーズな音声対話を提供、(2) OpenAI や主要 LLM (大規模言語モデル) との連携が可能。(3) 音声・映像統合によるマルチモーダルな AI エージェント導入が可能。(4) 柔軟なシステム統合と拡張性により低コストでの組み込みが可能。

ブイキューブは、Agora の公式パートナーとして、日本企業向けに音声・映像・会話型 AI SDK の導入サポートを提供している。会話型 AI の普及が進む中で、日本市場への導入支援を強化し、サービスの市場投入のスピードを加速させるとしている。

■導入利用動向-海外

■Zoom Communications 社：MLB が Zoom Contact Center を活用して拡充する革新的なファン体験

(PRTIMES(ZVC Japan):3月11日)

Zoom Communications 社 (<https://www.zoom.com/ja>) (米国・カリフォルニア州、以下 Zoom 社) は、Major League Baseball 社 (米国・ニューヨーク州) が、リプレイ検証や顧客対応に「Zoom Contact Center」などの Zoom 製品を活用し、革新的かつ優れた顧客体験を提供している、と発表した。

スポーツライブの配信には、一般的なビジネスにはない固有の課題がいくつか存在し、MLB にとって、信頼性が高く効果的なテクノロジーは不可欠という。MLB では試合以外にも MLB Draft (ドラフト会議) などのイベントを主催しており、これらのイベントを成功に導くには、シームレスなコミュニケーションとコラボレーションも必要になるという。

MLB では、これまで Zoom Meetings と Zoom Phone

を日常業務に多く使用してきた MLB スタッフは、Zoom プラットフォームに備わった価値を見出し、「Zoom Contact Center」およびオールインワンイベントプラットフォームである「Zoom Events」を追加することで、「革新的な体験を提供する MLB」としての評判を広めた。

MLB は、Zoom 社と 2023 年に結んだパートナーシップの一環として、リプレイオペレーションセンターを変革。MLB の試合におけるビデオ判定が行われる Zoom リプレイオペレーションセンター（ニューヨーク）では、主審がリプレイ検証中に Zoom Contact Center を介してこの施設につながり、視聴者は専門家による判定検証の議論をリアルタイムで視聴できるようになっている。

また、試合配信向けに設計されたライブ検証機能を通じて、ファンはこれまでにない形でリプレイ検証を体験可能になった。さらには、史上初めてリプレイセンター内にカメラを設置し、球場や自宅、オフィスなど、どこからでもバーチャルにアクセスできる環境が整った。全てのリプレイデータは Zoom リプレイオペレーションセンターに送られ、そこで検証が行われるため、視聴者に対して高い透明性が確保されているという。

その他、MLB.TV スタッフは、Zoom Contact Center を使用し、顧客の請求情報や技術的な問題を迅速かつ信頼性の高い方法で処理すること、通話の待ち時間を短縮し、顧客満足度を向上させている。

一方、Zoom Events により、組織は魅力的でインタラクティブなツールや機能を活用し、バーチャルとライブの視聴者を結びつける大規模イベントを主催できるといふ。

MLB Draft では、2023 年に Zoom Events を使用し、球団、スカウト、選手がどこからでも効果的にコミュニケーションを取れる環境を整え、視聴者を革新的な体験へと招待するシームレスな機会を提供した。これにより、ファンはドラフトで指名されたばかりの選手の様子をライブで視聴し、選手の人生が大きく変わる瞬間を見届けることができるようになった。

Zoom プラットフォーム内に直接組み込まれた多くのコラボレーションソリューションを活用することで、MLB はテクノロジーファーストの組織であり続け、将来のファンや次世代のために、極めて優れた革新的な体験を継続して構築している。

セミナー・展示会情報

<国内>

■ブイキューブセミナー情報（3月）

「超低遅延の応答を実現！リアルタイム会話型 AI で未来を切り開く」「社内の「動画活用」について先進企業の担当者がリアルを語る」など

会場：オンライン/オンデマンド

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

■Webex Meetings 関連ウェビナー（3月）

会場：オンデマンド

主催：シスコシステムズ合同会社

詳細・申込：https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/training-events/events-webinars/collaboration-webinars.html

国内その他：<https://cnar.jp/cna/event-j.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

オンライン会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月 2 回（プレスリリースと取材に基づく記事のみ）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

■フェイスブック（遠隔会議&UC トレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■X（旧：Twitter）（遠隔会議&UC トレンドワッチ）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dtc-forum）

<https://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html>

定期レポートバックナンバー

定期レポートのバックナンバー（1999 年～最新号）は下記 URL で閲覧できます。

<https://cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

お知らせ（重要）

—配信システムの変更について：

長年配信システムのひとつとして使用してきました、まぐまぐですが、すでにご案内の通り、まぐまぐでの配信を 2024 年 10 月末号にて終了いたしました。今後は、CNA レポート・ジャパンのサイト、X（旧ツイッター）、facebook ページ、dte-forum メーリングリストでの配信とさせていただきます。

この定期レポートをまぐまぐで受信されている読者の方は大変お手数ですがいずれかの受信方法へご変更お願い致します。

>CNA レポート・ジャパン サイト

<https://cnar.jp>

>X(旧ツイッター)

<https://x.com/cnarjapan>

>facebook ページ

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

>メーリングリスト（dte-forum）

<https://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

■CNAレポート・ジャパン 2025年3月15日号

ホームページ: <https://cnar.jp>

お問い合わせ: inquiry@cnar.jp